

【OIE 情報】スペインにおける牛海綿状脳症（BSE）の発生について

スペインにおける牛海綿状脳症（BSE）（非定型、H型）の発生について、OIEへ緊急報告がありましたのでお知らせいたします。

なお、同国からの牛、めん羊及び山羊並びにこれらの動物由来の肉製品等については、現在輸入停止中です。

また、スペインが獲得している「無視できるBSEリスク」ステータスに変更はありません。

出典：OIEウェブサイト

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?page_refer=MapFullEventReport&reportid=29656

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】

- ・発生数：1件（緊急報告・終報）
- ・発生日：2019年1月24日
- ・OIEへの報告日：2019年2月22日

【発生状況】

- ・カスティーリャ・イ・レオン州サモーラ県の農場

【動物種】	【感受性動物数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
牛	465	1	1	0	0

【疫学情報】

- ・感染源：不明または調査中
- ・2019年1月25日に、アルヘテの中央獣医研究所（伝達性海綿状脳症の診断検査のためにUNE-EN ISO / IEC 17025：2005の下で認可されたTSE国立リファレンス試験所）は、ビリャキランブレの地方認定家畜衛生研究所より、Bio-Rad TeSeE SAPIによる迅速検査で陽性を示したBSEの疑いがある牛の脳幹検体を受領
- ・国立リファレンス試験所は、EU規則No. 1148/2014に従って認可された確定診断（ウェスタンブロット及びELISA）を実施
- ・上記検査によりBSE陽性と判明した後、国立リファレンス研究所でイムノブロットティングによりBSEの型を同定するための検査を実施、非定型H型BSEであると判明
- ・当該検体は、国家TSEサーベイランスプログラム（48か月齢超の死亡または食用にと畜されなかった牛のサンプリング）により採取された
- ・当該牛は2013年7月30日生まれのホルスタイン交雑種の雌牛（cow）

【対応】

- ・トレーサビリティ
- ・死体、副産物及び廃棄物の公的処分
- ・部分淘汰
- ・施設等の消毒
- ・ワクチン接種（存在すれば）
- ・患畜を治療対象としない

【診断】

- ・診断施設：アルヘテ中央獣医研究所（国立研究所）
- ・診断方法：ウエスタンブロット：陽性（2019年2月19日）

【参考】発生地図



スペイン カスティーリャ・イ・レオン州
サモーラ県
2019年1月24日
牛海綿状脳症（非定型、H型）